

中学校英語科におけるデジタル教材 「Shuffle Flash S・V・O・C」の作成と活用

— 習得語彙を活用して基本文を正しく理解することのできる生徒の育成を目指して —

情報教育・ICT活用班

阿部 充寿（中学校教諭）

現状と課題

「ほぼたく群馬の指導プラン」での課題
 「正しい綴りで英文を書く」⇒ 読めない単語は覚えづらい
 「正しい語順で英文を書く」⇒ 日本語とは違う英語の語順



目指す生徒像

基本文を正しく理解することのできる生徒



デジタル教材「Shuffle Flash S・V・O・C」の作成と活用

フラッシュカードで
語彙力Up

10個の動詞を様々なパターンで表示が可能

talk	talk	talk	
talks	話す		話す

文字と音声の一致により、語彙力を高める

ランダムに単語や英文が表示されて楽しい

10個の動詞を入力するだけで
だれでも簡単に活用できる

パターンフラクティスで
文法力Up

20種類の英文を自動的に作成

ワークシートも
自動的に
作成される

He talks with Ben	He talk with Ben	He with Ben	He with Ben
彼は ベンと 話す	彼は ベンと 話す	彼は ベンと 話す	彼は ベンと 話す

色で視覚的に英語と日本語の語順の違いを表示

通常 ヒント表示 動詞非表示 英文非表示

パンチゲーム



動詞に-s(es)が付くときは
右手でパンチの動作、
-s(es)が付かないときは
左手でパンチの動作をする。

- どの単語や英文が出てくるか分からないので、ワクワクして楽しい。
- ボタンを押すと、次の単語や英文に変わるので
授業がスムーズに進行 していました。
- パソコンを使っていった方が黒板より みんなが集中する と思う。

- 色が付いているので、英語の語順が分かり、
日本語との違いにも役立った。
- 英語と日本語が同時に表示されているので
単語の意味の理解 に助かった。

英文早書き対決



ホワイトボードを使い
画面に表示された
日本語を英語に
いかに早く書けるかを
横列で競争させる。

成果

繰り返し練習したことによって、発音できる単語や英文が増え、それと比例して音読する声も大きくなってきた。
また、ライティング活動も含めたゲーム的要素も取り入れることで、楽しみながら基本的な英文を理解し、正しい綴りと語順で「書く力」へと高めることができた。

課題

基本文を習得し、もっと難しい英文に挑戦したいという気持ちが高まってきたため、場所や時を表す語句もパターンプラクティスできる「Shuffle Flash S・V・O・C」を作成していく必要がある。